

首都圏在住者からみた  
中国地方の観光実態と魅力度

報告書

平成 25 年 3 月

中国経済連合会

## 目 次

<b>1. 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1) 調査目的 .....	1
2) 調査手法及びサンプル数.....	1
3) 観光エリアの設定.....	1
<b>2. 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1) 回答者属性 .....	3
2) 訪問経験 .....	4
3) 満足度 .....	6
4) 交通手段 .....	8
5) 訪問希望地 .....	9
6) 中国地方への旅行.....	11
7) 中国地方の名称 .....	11
8) 中国地方のイメージ.....	12
9) 中国地方の特産品.....	14
10) 周遊ルート .....	15
<b>3. まとめ</b> .....	<b>16</b>

## 1. 調査概要

### 1) 調査目的

- 中国経済連合会では、首都圏在住者の中国地方の観光地に対する認識や評価について、2008年度、2010年度の2回、「旅フェア」での対面調査を実施しており、加えて2011年度にはウェブアンケート調査を実施している。
- 本調査は、首都圏在住者など都市域の在住者を対象としたアンケートを継続的に調査する目的で、2012年9月に㈱楽天リサーチに委託し、ウェブアンケート調査を実施した。
- 回答者は首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の1都3県在住者であり、合計で125名である。

### 2) 調査手法及びサンプル数

(2012年度調査：今回調査)

- ・実施日 : 2012年9月6日～7日
- ・調査手法 : インターネット調査（㈱楽天リサーチ）により実施
- ・サンプル数 : 首都圏125件

### 3) 観光エリアの設定

- ・各県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県10エリア程度を設定した。
- ・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため、観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について3つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

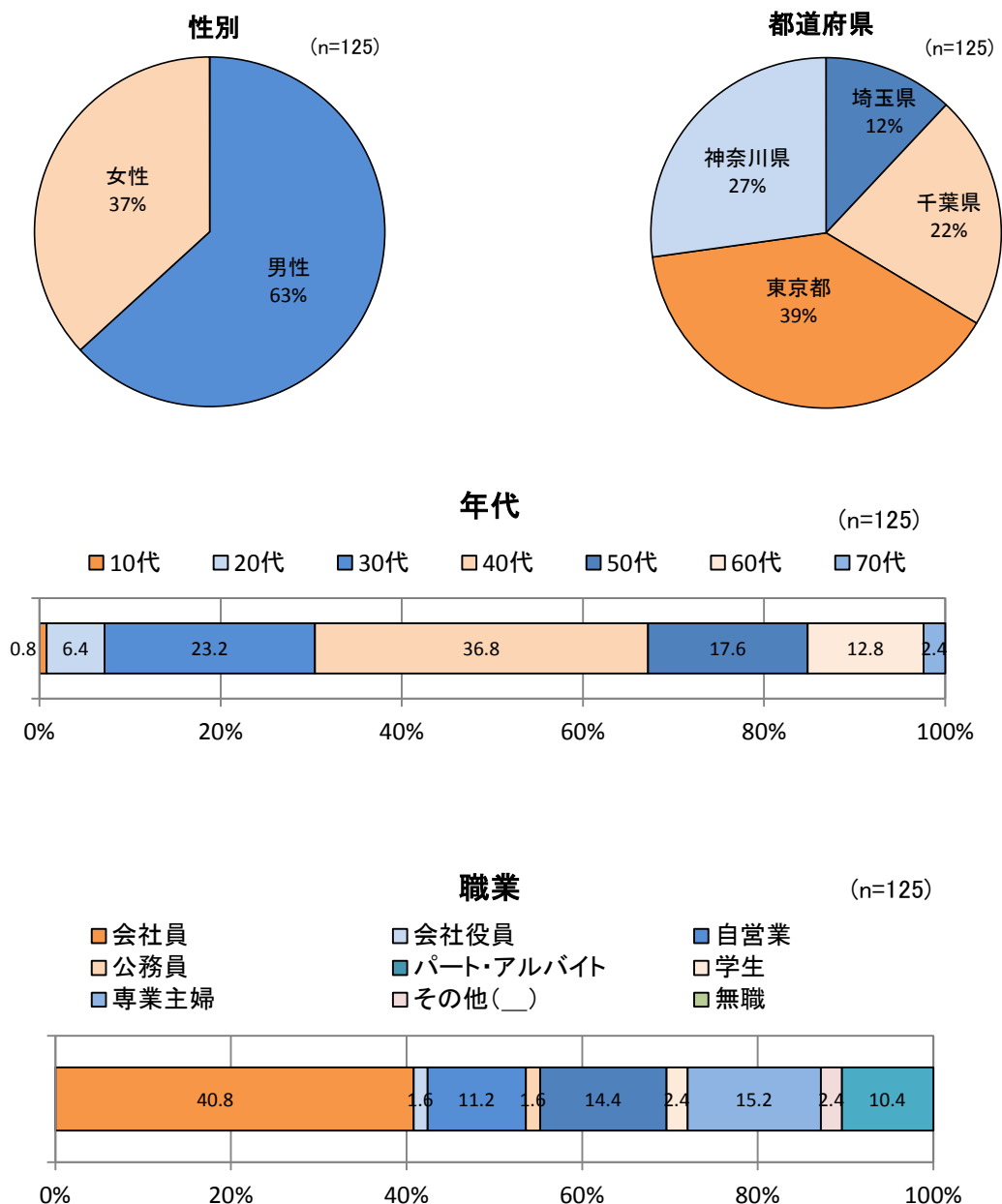
鳥 取 県	1. 鳥取（鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など）
	2. 智頭（石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など）
	3. 倉吉（白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など）
	4. 三朝温泉
	5. 羽合（羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など）
	6. 北栄（コナン通り、青山剛昌ふるさと館など）
	7. 大山（大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など）
	8. 米子（皆生温泉など）
	9. 境港（水木しげるロード(記念館)など）
島 根 県	10. 松江（松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など）
	11. 玉造温泉
	12. 出雲（出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など）
	13. 奥出雲（鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館（たたら製鉄）など）
	14. 安来（足立美術館、清水寺など）

	15. 石見銀山 (石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など)
	16. 浜田 (石見海浜公園、アクアス (水族館) など)
	17. 邑南 (香木の森公園、瑞穂ハイランド (スキー場) など)
	18. 津和野・益田 (太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など)
	19. 隠岐 (隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など)
岡山県	20. 岡山 (後楽園、岡山城など)
	21. 吉備路 (吉備津神社、備中国分寺など)
	22. 倉敷 (美観地区、大原美術館など)
	23. 児島・玉野 (鷲羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など)
	24. 備前 (閑谷学校、備前焼、日生諸島など)
	25. 牛窓 (牛窓オリーブ園、海水浴場など)
	26. 高梁 (備中松山城、吹屋ふるさと村など)
	27. 津山 (新庄がいせん桜、城東の町並みなど)
	28. 蒜山高原
	29. 美作三湯 (湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉)
広島県	30. 広島 (平和公園、原爆ドーム、お好み村など)
	31. 宮島 (厳島神社、弥山、みやじマリン (水族館) など)
	32. 呉・江田島 (大和ミュージアム、旧海軍兵学校など)
	33. 竹原 (町並み保存地区、大久野島など)
	34. 尾道 (千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など)
	35. しまなみ海道 (耕三寺、平山郁夫美術館など)
	36. 福山 (鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など)
	37. 三次・庄原 (三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など)
	38. 安芸高田 (土師ダム、神楽門前湯治村など)
	39. 芸北 (三段峡、温井ダム、スキー場など)
山口県	40. 下関 (海峡ゆめタワー、海響館 (水族館)、唐戸市場、赤間神宮など)
	41. 山口 (サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など)
	42. 秋吉台・秋芳洞
	43. 萩 (松下村塾、松蔭神社、萩博物館など)
	44. 長門 (湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など)
	45. 宇部・山陽小野田 (ときわ公園、焼野海岸、産業観光など)
	46. 防府 (防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など)
	47. 周南・下松・光 (笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など)
	48. 柳井・周防大島 (白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセットなど)
	49. 岩国 (錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど)

## 2. 調査結果

### 1) 回答者属性

回答者の属性として、性別では男性が6割、年代は40代を中心に30代～50代で全体の約8割を占めている。職業は会社員が40.8%ともっとも多く、次いで専業主婦15.2%、パート・アルバイト14.4%となっている。



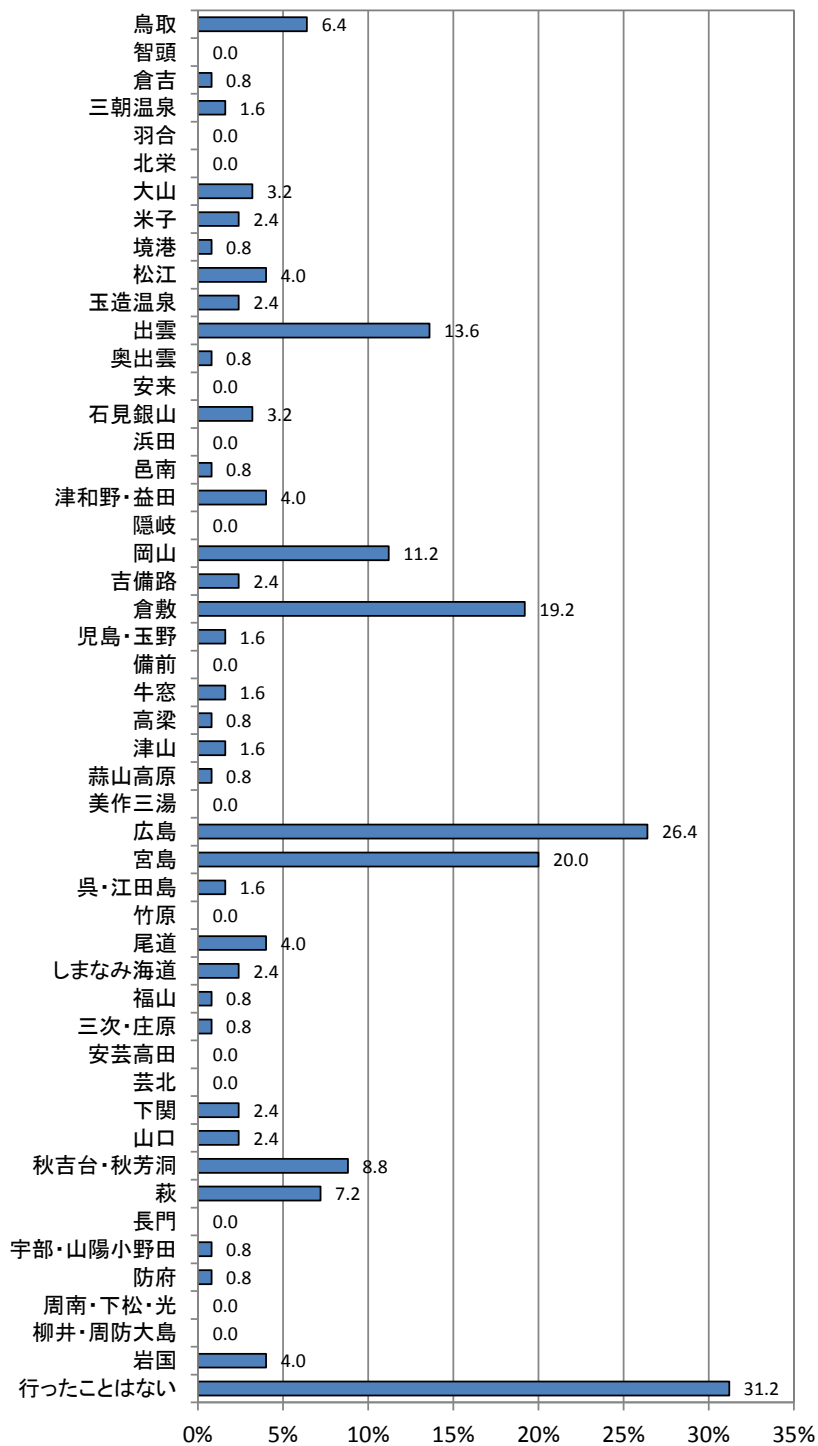
## 2) 訪問経験

### (1) 全体

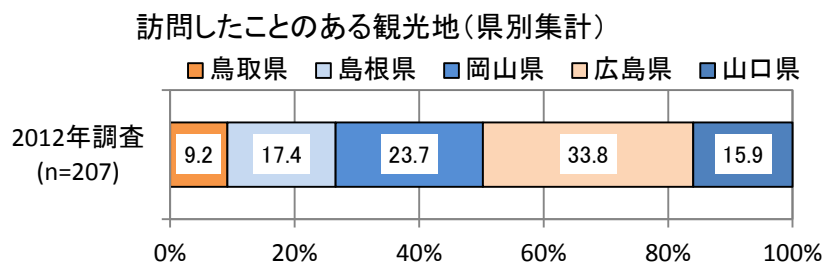
中国地方を49の観光エリアに分け、訪問したことのある観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も訪問した人が多かったのは広島であり、次いで宮島、倉敷となっている。中国地方に「行ったことがない」という回答が31.2%を占めている。

「中国地方」で訪問したことのある観光地や市町村

(n=125)

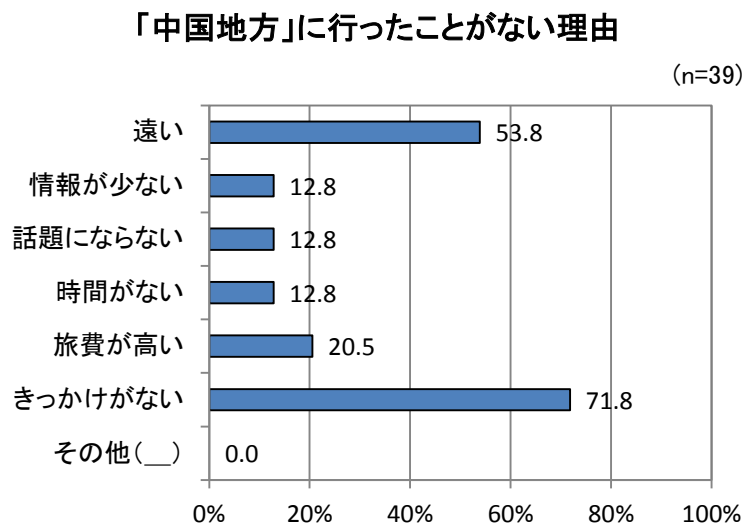


上記の回答を県別に合計したところ、広島県が 33.8%と最も多く、ついで岡山県 23.7%、島根県が 17.4%となっている。



## (2) 未訪問理由

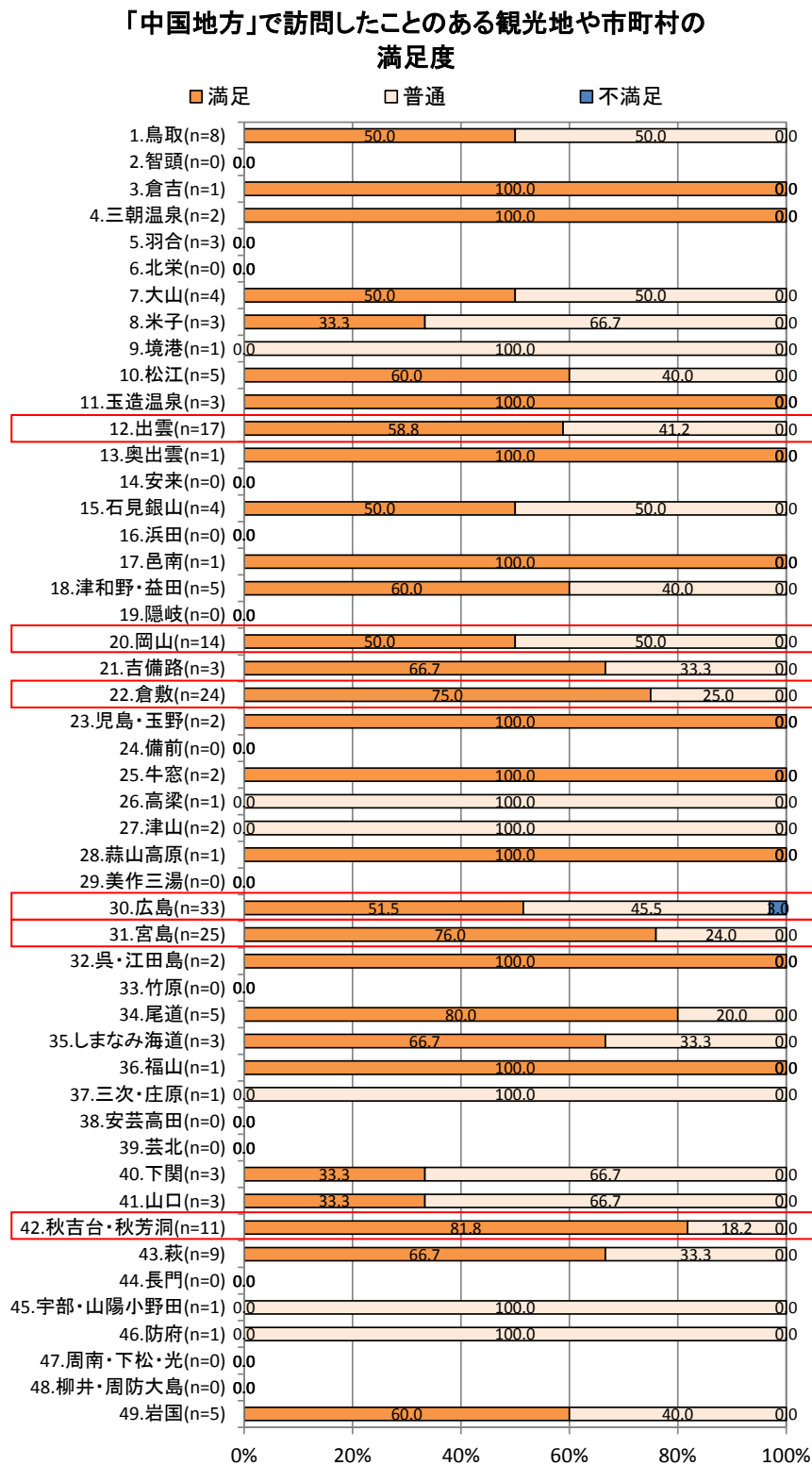
本調査において中国地方に行ったことがない人は 31.2%であったが、それらの回答者に対しその理由を聞いたところ、「きっかけがない」との回答が 71.8%と最も多かった。また「遠い」という回答も約半数の人が選択しており、この2つが主要な理由となっている。「情報が少ない」、「話題にならない」という回答は少ないことから、情報はあがるが「きっかけ」がないために訪問していない人が多く、「きっかけ」づくりが今後必要になってきている。



### 3) 満足度

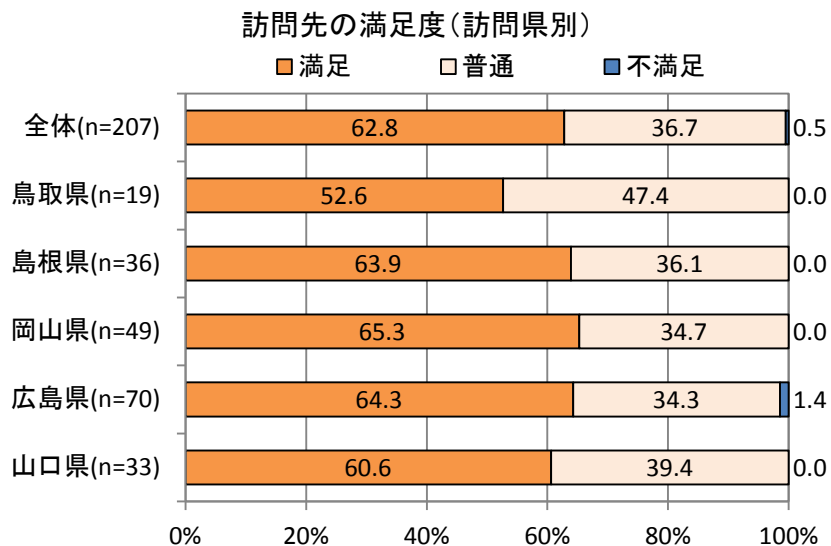
#### (1) 全体

訪問したことのある観光地や市町村に対する満足度を聞いたところ、以下のような結果となった。訪問経験者の多い地域（サンプル10名以上、以下赤枠囲み部分）に着目すると、満足度は40%台から80%台まで差があり、最も高い満足度は「秋吉台・秋芳洞」の81.8%となっている。





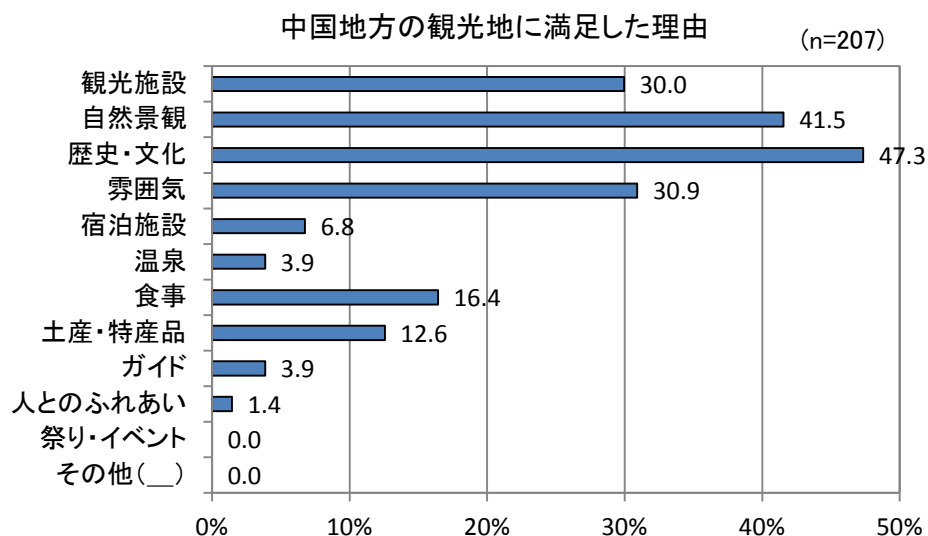
上記の各地の満足度を集計したところ、全体の「満足」は62.8%と高く、「普通」は36.7%、「不満足」は0.5%と少ない。訪問県別にみると、各県とも「満足」という評価が過半数となっている。



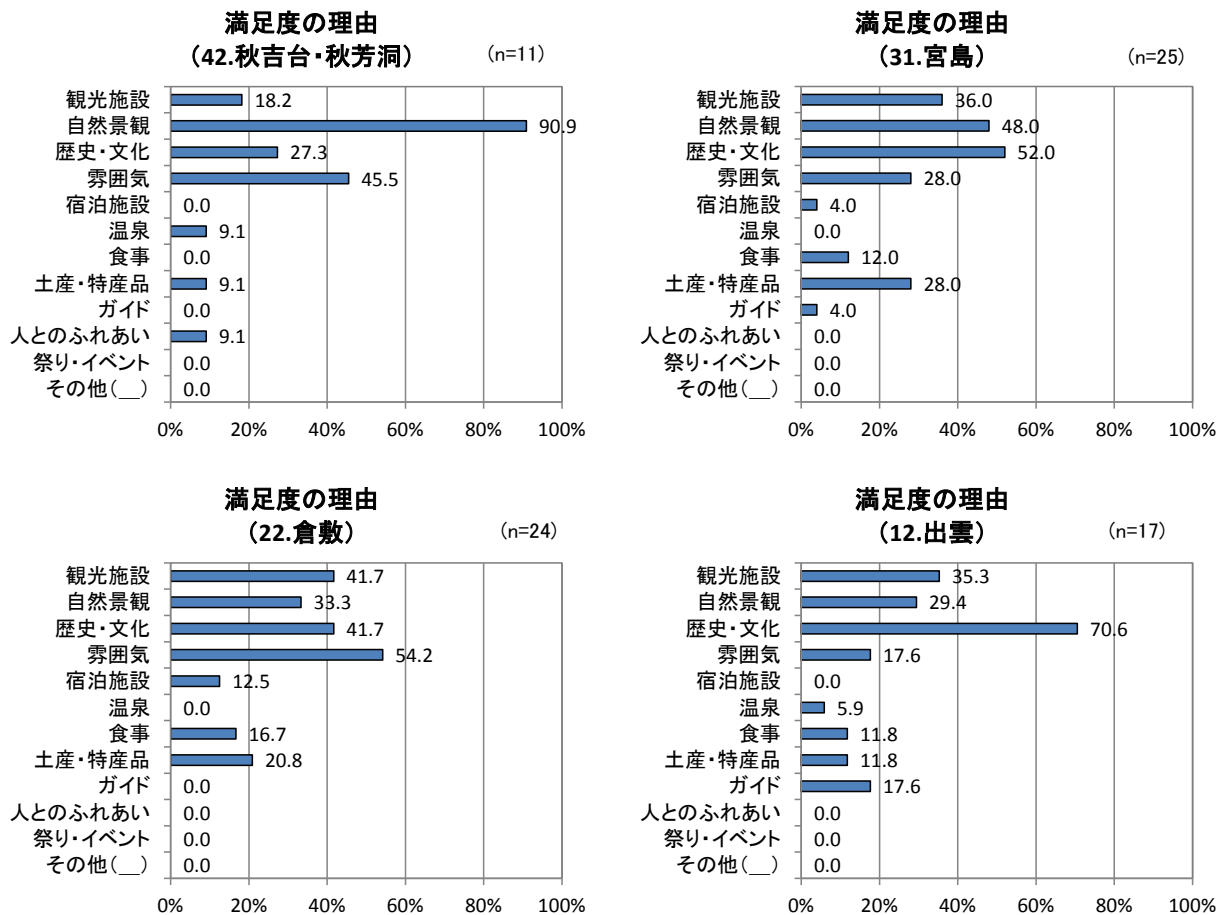
## (2) 満足度の高い理由

中国地方の観光地に「満足」と回答した観光客について、満足であった理由をみると、中国地域全体としては「歴史・文化」が47.3%と最も高く、次いで「自然景観」が41.5%となっている。

中国地方のセールスポイントの要素として「歴史・文化」、「自然景観」が挙げられ、観光施設、雰囲気などの要素も加えて中国地方の観光の魅力が形成されていることがわかる。また、宿泊施設、温泉、ガイドなどの回答は少なく、中国地方の魅力が弱い部分となっている。

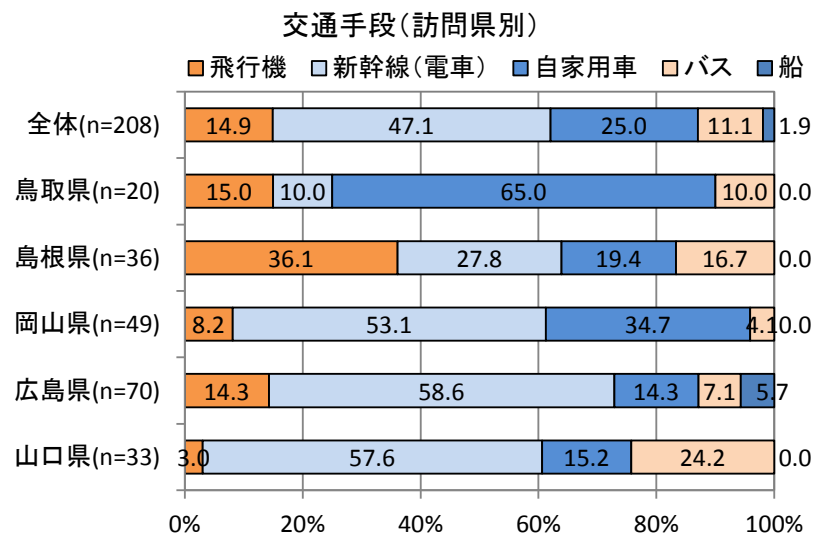


前項で評価の高かった秋吉台・秋芳洞、宮島、倉敷、出雲について、それぞれ満足度の高い理由は以下の通りである。秋吉台・秋芳洞の「自然景観」、出雲の「歴史・文化」など、それぞれの特色として打ち出すべき部分が見えてくる。



#### 4) 交通手段

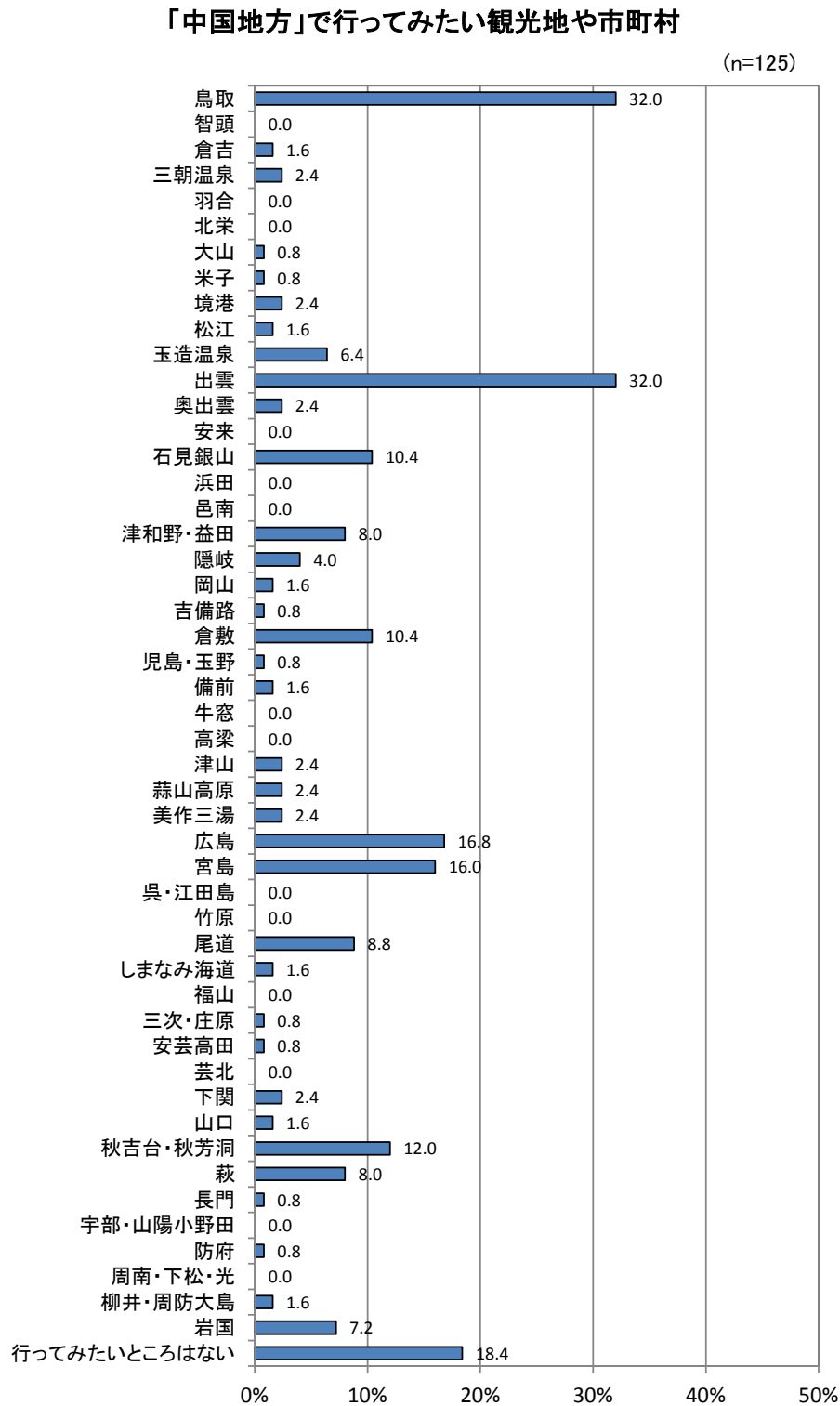
中国地方に訪問したことがある人を対象にして、主な交通手段をみると、「新幹線(電車)」が5割弱と最も多く、「自家用車」が全体の1/4となっている。訪問県別にみると、鳥取県は「自家用車」の割合が65%と高くなっている。



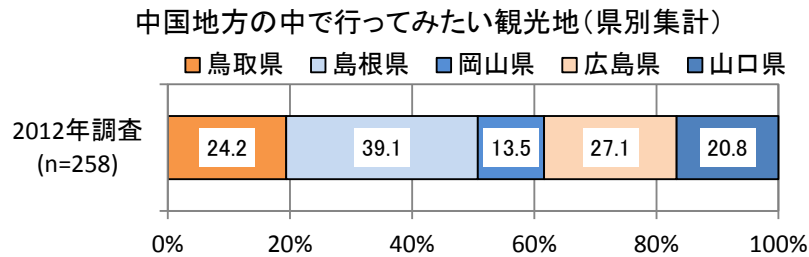
## 5) 訪問希望地

### (1) 全体

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問してみたい観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も多かったのは鳥取と出雲であり、3割以上の人が回答している。次いで広島、宮島となっている。「行ってみたいところはない」という回答も18.4%あった。

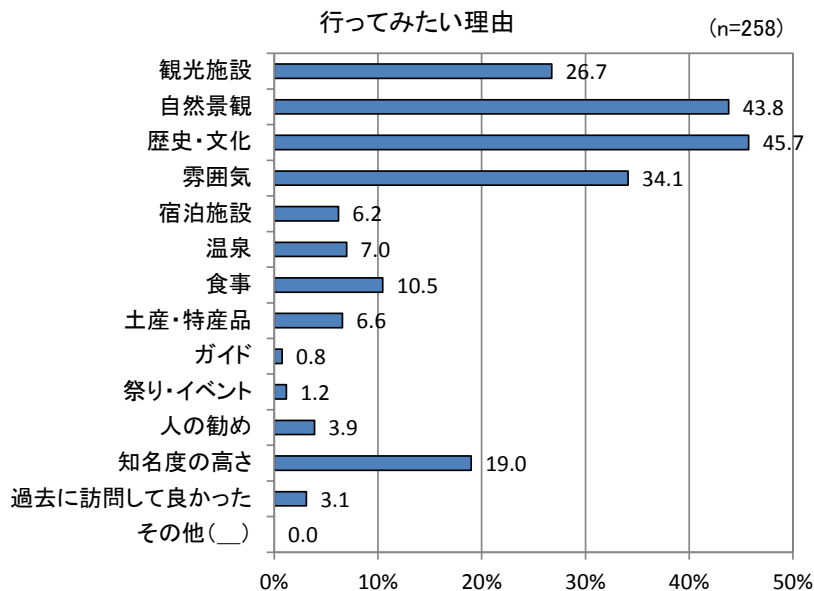


上記の回答を県別に合計したところ、島根県が 39.1%と最も多く、ついで広島県 27.1%、鳥取県 24.2%となっており、山陰地方への訪問希望が高くなっている。



## (2) 訪問希望の理由

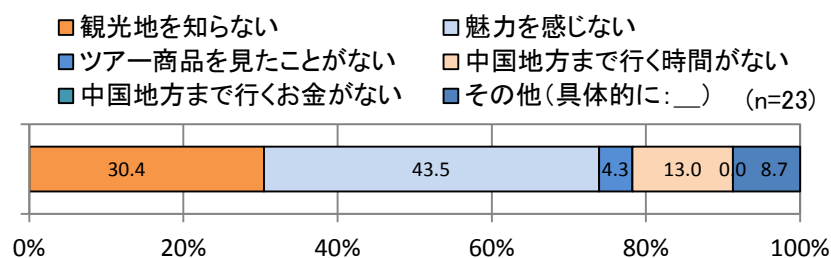
中国地方の各観光地(県)に行ってみたい理由としては「自然景観」が 43.8%、「歴史・文化」が 45.7%となっており、この2項目が4割を超えている。前述の満足度の上位2項目と同一であり、この2要素が中国地方の観光の魅力とイメージを形成しているといえる。



## (3) 訪問希望が無い理由

「行ってみたいところがない」と回答した人に対し、その理由を聞いたところ、「魅力を感じない」という回答が最も多く、次いで「観光地を知らない」が多かった。それらの回答は時間が無い、お金がないという回答を大きく上回っており、魅力のPR、認知度向上が不可欠となっている。

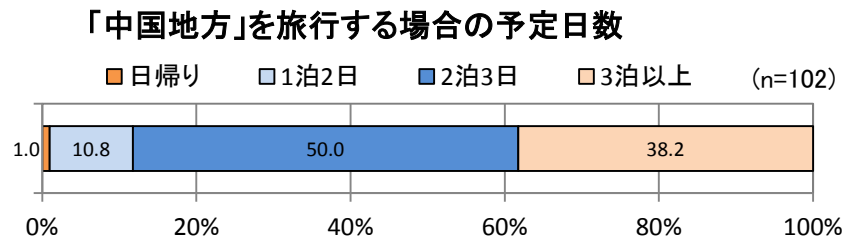
### 「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたいところがない理由



## 6) 中国地方への旅行

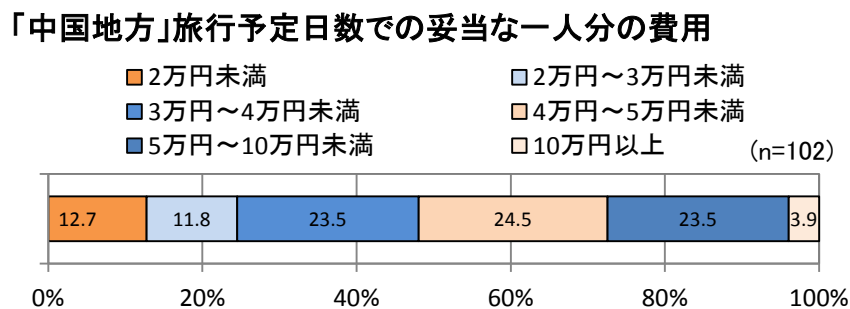
### (1) 予定日数

中国地方を旅行する場合の予定日数は、「2泊3日」が最も多く全体の半数近くを占め、3泊以上と合わせ全体の8割以上が2泊以上を希望している。



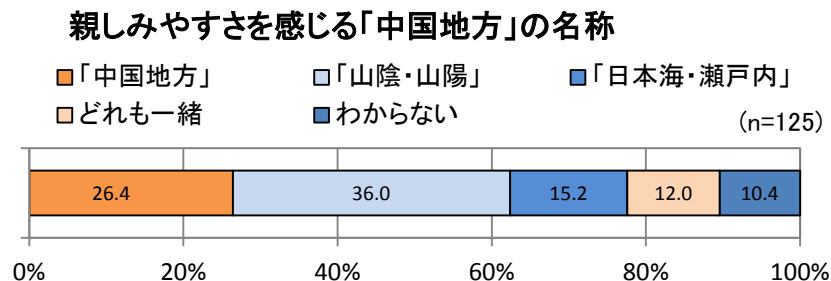
### (2) 費用

中国地方を旅行する場合の費用は、2万円未満、2～3万円、3～4万円、4～5万円、5～10万円、それぞれ2割前後となっており、旅行費用の感覚が人によって大きく差が出ている



## 7) 中国地方の名称

親しみやすさを感じる「中国地方」の名称を聞いたところ「山陰・山陽」が最も多く、4割を占めている。



## 8) 中国地方のイメージ

中国地方のイメージについて自由に記載して頂いたところ、自然が多いイメージが多く、その他、歴史がある、食べ物が美味しいなどの記載が多かった。

自由記述	性別	年代	居住地
20代に広島に2年ほど住んでいました。穏やかな海・景観・海の幸など最高です。	男性	60歳代	千葉県
果物おいしい。魚介類が豊富。気候が温暖。地震が少ない。	女性	30歳代	東京都
海が近いし景色が良いと思うから	男性	60歳代	東京都
海と山に囲まれた自然が多い	男性	30歳代	神奈川県
山と海	男性	50歳代	東京都
暖かい。溪谷の川に子供たちがジャンプして飛び込んでる風景。	女性	30歳代	埼玉県
自然がきれい	男性	40歳代	東京都
自然がたくさん。未知の世界。	女性	40歳代	東京都
自然が残っている	女性	40歳代	埼玉県
自然が多い	男性	40歳代	千葉県
自然が多い	女性	20歳代	東京都
自然が美しい。他の地方とは違う雰囲気がある。	女性	50歳代	神奈川県
自然が豊か	男性	50歳代	東京都
自然が豊か、天候が悪い	男性	50歳代	東京都
自然が豊富	男性	40歳代	東京都
自然豊かで緑が多い。	女性	30歳代	東京都
各県に特徴がある。世界遺産、歴史に縁がある。	女性	30歳代	東京都
世界遺産	男性	40歳代	神奈川県
瀬戸内海	男性	40歳代	東京都
瀬戸内海。	男性	40歳代	千葉県
日本海と瀬戸内海	男性	60歳代	東京都
瀬戸内海に面した温暖な地域	女性	50歳代	東京都
広い	男性	30歳代	東京都
明治維新	男性	60歳代	東京都
歴史のある街が多い	男性	50歳代	東京都
歴史を感じる	女性	50歳代	東京都
歴史を感じる	女性	40歳代	千葉県
歴史的な文化財などが多く、海や自然が豊富なイメージ。	男性	30歳代	東京都
広島を中心としながらも、観光する場所が点在している	男性	40歳代	埼玉県
広島原爆記念	男性	50歳代	千葉県
観光名所がたくさんある	女性	50歳代	神奈川県
魚がうまい	男性	50歳代	東京都
食べ物が美味しい。 自然が美しい。	女性	60歳代	東京都

食べ物が美味しそう	女性	30歳代	東京都
食事がいい	男性	40歳代	千葉県
食事が美味しそう。	女性	60歳代	神奈川県
関東在住なのであまりイメージがわからない。広島焼きくらいかな	男性	30歳代	埼玉県
景色がきれい	女性	40歳代	神奈川県
故郷	女性	40歳代	神奈川県
故郷なのでとても親しみがある。自然災害も少なくて良い。城がたくさんあるイメージ。	女性	30歳代	千葉県
海はきれいそう。	女性	40歳代	東京都
海	女性	30歳代	東京都
きれい	男性	60歳代	千葉県
空気がきれい	男性	30歳代	千葉県
出雲	女性	30歳代	東京都
温暖	男性	40歳代	神奈川県
温暖で素朴	男性	60歳代	埼玉県
穏やかな気候	男性	30歳代	神奈川県
気候がおだやかそう	女性	30歳代	神奈川県
のどかでえ空気がおいしく温泉の泉質がよい	女性	20歳代	東京都
のんびりしたイメージ	男性	40歳代	東京都
時間の流れ方がゆるい感じが魅力	女性	50歳代	神奈川県
都会化されていない素朴な日本	女性	40歳代	東京都
田舎	女性	30歳代	神奈川県
地元	男性	20歳代	東京都
何となくじみなイメージ。	女性	40歳代	東京都
地味	男性	30歳代	千葉県
地味。でも、すごく行きたいと思ってる	女性	30歳代	埼玉県
行ってみたいけれど、第一希望にはなりにくい場所	男性	40歳代	千葉県
ちょっとマイナー的で、神秘的なイメージがある	男性	40歳代	神奈川県
イメージが薄い	男性	30歳代	埼玉県
暗い。	男性	50歳代	千葉県
マイナーなイメージ	男性	40歳代	神奈川県
話題に度々あがるけど目立たない	男性	20歳代	埼玉県
わからない	男性	40歳代	神奈川県
観光名所は多いのに、離れていて効率的に回れない。	女性	30歳代	東京都
不便	男性	30歳代	東京都
遠い	男性	40歳代	東京都
遠い	男性	50歳代	千葉県
遠い	女性	30歳代	東京都
遠くてわからない	男性	50歳代	東京都
高速道路が味気ない。	女性	40歳代	東京都
思い浮かばない	男性	50歳代	東京都

## 9) 中国地方の特産品

中国地方の特産品について思い付くものを3つまで記載して頂いたところ、牡蠣、もみじ饅頭、ふぐ、お好み焼き（広島焼き）が多かった

牡蠣	24
もみじ饅頭	19
ふぐ	15
お好み焼き（広島焼き）	15
きび団子	11
桃	10
マスカット・ぶどう	8
梨（二十世紀梨、鳥取の梨）	4



## 10) 周遊ルート

中国地方を旅行する場合、周遊したいと思われるルートについて自由記述をしてもらったものを、起点となる県別に整理した。起点となる県別にみると、岡山県を起点するルートを回答した人が多く、首都圏からみた時に岡山が中国地方の入口として認識されている割合が高いといえる。

起点	ルート	自由記述内容
鳥取起点	中国地方一周	鳥取→松江→宍道→津和野→萩→長門→下関→広島→岡山
		山陰の鳥取から出発し、山陽の岡山まで一周するルート
		鳥取→松江→下関→広島→倉敷
	鳥取→島根→岡山	砂丘→出雲大社→倉敷
	鳥取→島根→広島	鳥取砂丘→出雲大社→石見銀山→広島原爆ドーム
		鳥取→出雲→広島
鳥取→島根→広島		
鳥取→島根	鳥取→出雲	
島根起点	島根→山口→広島→岡山	出雲→下関→広島→尾道→岡山
	島根→山口→岡山	出雲→萩→備前
	島根→山口	出雲→石見、津和野→萩→秋芳洞
	島根→広島→山口	出雲→広島→下関
岡山起点	中国地方一周	岡山(後楽園・玉野・倉敷)→広島(呉・宮島)→山口(岩国・下関・萩)→島根(出雲・松江)→鳥取(倉吉・三朝温泉)
		倉敷→鳥取→出雲→広島→下関
	岡山→島根→山口	倉敷→津和野→萩
	岡山→広島→山陰	岡山→広島→島根
		岡山→広島→出雲→米子
	岡山→広島→山口	岡山→広島→山口
		神戸→岡山→呉→岩国→萩→長門→下関
		津山→三次→萩
	岡山→山陰	美作→玉造→皆生
	岡山→広島	倉敷→呉
		倉敷→尾道→その他
倉敷→尾道→松山		
倉敷→広島→福岡		
広島起点	広島→山口	宮島→岩国→萩
		広島→下関→唐津→長崎
		尾道→宮島→萩
		尾道→広島→下関
	広島→鳥取	広島→宮島→鳥取
	広島→島根→岡山	広島→出雲→岡山
	広島→岡山	宮島→倉敷
山口起点	山口→広島→鳥取	山口→広島→鳥取
	山口→島根→鳥取	萩→出雲→鳥取
	山口	津和野→萩
		博多→下関→萩
その他		周遊ではなく一カ所を重点的に観光したい

### 3. まとめ

#### (1) 中国地方の観光実態と今後のPRの仕方について

##### ○訪問希望率の高い山陰において広域観光ルートを一アピール

中国地方への訪問経験率では山陽3県が高いが、今後の訪問希望率においては山陰2県のウエイトが大きい。一般的に、未だ訪れたことのない地域に対しては、漠然とした憧れをもちやすいことに加えて、ここ数年来、TV等による山陰を舞台としたコンテンツ（映画、CMなど）が放映されたこと等により、首都圏での知名度や関心が高くなっていることも考えられる。

観光ゾーン別の訪問希望率においても、鳥取、出雲が上位であることから、山陰の広域観光ルートは首都圏在住者に訴求力を備えていると思われる。

##### ○情報発信においては、旅行の「きっかけ」に繋がるような情報発信が大切

中国地方に行ったことがない理由としては、「きっかけがない」や「遠い」という消極的な理由が上位になっている。こうしたことから、情報発信においては、「旅行のきっかけ」に繋がるような情報発信の仕方と、未訪問地域における乏しい観光情報という制約を取り除いていくような、情報発信の仕方が求められる。

#### (2) 中国地域の観光イメージの形成について

##### ○「歴史・文化」と「自然景観」のイメージが中国地方の両輪

中国地方を訪れた観光客の満足度を高めている要素としては、「歴史・文化」と「自然景観」が両輪となっている。中国地方はこれまで観光イメージが湧きにくいという課題を抱えてきているが、地域毎のイメージは比較的明確になっており、この地域特性を更に強化し、メリハリのある中国地域の観光の姿を構築していくことが求められる。

##### ○海や山を活かした「自然の中の癒し」のイメージを高める

中国地方に感じられるイメージとして自由記述で最も多かったのは「自然」に関する記述であり、これには山が多いことや日本海・瀬戸内海という海に囲まれていることなどが含まれる。今後の観光の主役を占める中高年齢層においては、「自然」の中での癒しやリラックスを求める志向が強いことから、例えば瀬戸内海でのクルージングや釣りの体験、大山でのトレッキング（エコツーリズム）のような自然体験型の観光サービスの提供が、大都市圏からの旅行者にアピールする方向と思われる。

##### ○イメージの弱い「中国地方」よりも、「山陰・山陽」のほうが消費者には好感される

中国地方の親しみやすい呼び方として「山陰・山陽」が多く支持を得ている。イメージの湧きにくい「中国地方」という呼び方よりも、「山陰」と「山陽」のイメージを鮮明にしていく中で、その組み合わせで情報発信していくことも有効と思われる。

### (3) 物産品等から見たイメージアップ方策や内容充実方策について

#### ○山陰では「食べ物」のイメージを高めることが課題

中国地方の特産品の知名度を見ると、「牡蠣」「もみじまんじゅう」「お好み焼き」等が上位に上がっており、広島県の食べ物のイメージが強い。山口県では「ふぐ」のイメージを有しており、岡山県のきび団子や果物類（桃、マスカット）の名前が挙がっているが、鳥取県・島根県では食べ物のイメージが強くない。これらの地域でも優れた郷土料理を持っているが、首都圏でのイメージ力は強くないことから、食べ物のイメージアップが課題となっている。特に、訪問希望率が高い山陰においては、広域周遊ルート形成と合わせて、食べ物のイメージアップを図ることで、観光ブームを確かなものにする事が求められる。

『首都圏在住者からみた中国地方の観光実態と魅力度(平成 24 年度)』  
比較資料 (関西圏在住者、訪問経験)

